

## 情報公開文書

1. 研究課題名	婦人科悪性腫瘍肺転移に対する肺切除術に関する多施設共同後方視的観察研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	目的：婦人科悪性腫瘍肺転移に対する肺切除術の治療的意義を明らかにする。 概要：西暦2006年1月1日から西暦2015年12月31日までに大阪大学呼吸器外科関連施設臨床試験グループ(TSSGO)に参加する施設において、婦人科悪性腫瘍(子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌)肺転移に対して根治目的に肺切除術を施行し、病理組織学的に子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌の肺転移の診断を得た症例を対象とする。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	代表施設：大阪大学 呼吸器外科学 代表者：神崎 隆 (助教 呼吸器外科) 総括責任者：奥村 明之進(教授 呼吸器外科)	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	坂巻 靖 (呼吸器外科 部長 大阪警察病院)	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他( )
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	〈インフォームド・コンセント(アセント)について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年(提供元の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者( ) ・監査実施者( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	対応表の作成の有無について <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について：外部に接続の無いパソコンにパスワードを付して保存し、個人情報の取扱には十分配慮を行う。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 連絡先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科： <u>呼吸器外科</u> 担当者： <u>(氏名) 坂巻 靖</u> (職名) <u>部長</u> 連絡先：06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

## 情報公開文書

<p>1. 研究課題名</p>	<p>大阪府下の在宅呼吸ケアに関する実態-患者・介護者・施設の現状-</p>	
<p>2. 研究の目的及び                  実施計画の概要                  (研究に薬品や機器がある場                  合には品名と一般名も記載)</p>	<p>わが国の在宅呼吸ケアは、1985年から保険算定となった在宅酸素療法（HOT）を軸として進歩し、1990年には非侵襲的陽圧換気療養（NPPV）が診療報酬の算定対象となり、確実に進歩してきている。同時に包括的呼吸リハビリテーション、地域での医療連携、多職種によるチーム医療など、多彩な在宅医療の進歩を生み出してきている。</p> <p>しかし一方では、2011年在宅呼吸ケア白書において、地域ネットワークが形成されているのは約30%、その中でネットワーク形成の連絡先として80%前後が訪問看護ステーションであった。慢性呼吸器疾患患者は、病いは長期に渡って続き、セルフマネジメントによりいかに呼吸リハビリテーションを生活に取り入れ折り合いを付けながら生きていくかが、安定期を長く過ごしQOLを維持するカギとなる。そのため、月1回の外来受診時の関わりではアドヒアランスの維持が困難なことが少なくない。病院という非日常的な場所でなく、住み慣れた在宅において訪問看護やディサービスなど施設による呼吸リハビリテーションは重要である。</p> <p>また、慢性呼吸器疾患患者は、在宅呼吸ケアの普及に伴って予後改善効果が明らかとなっている。社会的に超高齢化社会の到来、老老介護の急増、急性期病院の在院日数の短縮などは在宅呼吸ケアに大きな影響を及ぼしていると考えられる。療養生活が長引くことにより患者の不安・抑うつ傾向が助長されたり、家族の介護負担が増大したりする。また、在宅での介護が困難となり施設入所が必要になることがあるが、医療が高度になるに従い、退院調整がスムーズにいかないことが少なくない。</p> <p>そこで大阪府下の在宅呼吸ケアを受けている慢性呼吸器疾患患者が行っている呼吸リハビリテーションの取り組みの状況や福祉サービスのニーズ、家族が行っている介護の状況や福祉サービスのニーズと共に、在宅ケアを担っている訪問看護ステーションや施設の実態を明らかにすることを目的とした。</p>	
<p>3. 研究責任者                  氏名・所属・職・所属機関</p>	<p>氏名 竹川幸恵                  所属 大阪はびきの医療センター                  職名 慢性疾患看護専門看護師</p>	
<p>4. 研究実施責任者                  氏名・所属・職・所属機関</p>	<p>山本 傑 大阪警察病院 臨床部長 呼吸器内科</p>	
<p>5. 研究の分類</p>	<p>〈侵襲性について〉  <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究  <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究  <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究</p>	<p>〈共同研究の有無について〉  <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究  <input type="checkbox"/> 当院のみの研究  <input type="checkbox"/> その他 ( )</p>
	<p>〈介入について〉  <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究  <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)</p>	<p>〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉  <input checked="" type="checkbox"/> 必要 (説明文書のみ 同意書不要)  <input type="checkbox"/> オプトアウト</p>

	<p>〈試料・情報の利用について〉</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 新規（取得試料・<u>情報の利用</u>）</p> <p><input type="checkbox"/> 既存（取得試料・情報の利用）</p> <p><input type="checkbox"/> 既存（残余検体の利用）</p> <p>【保存年数】</p> <p><input type="checkbox"/> 3年（提供元の場合）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 5年（提供先の場合）</p>	<p>〈モニタリングと監査について〉</p> <p><input type="checkbox"/> 必要</p> <p>・モニタリング実施者 ( )</p> <p>・監査実施者 ( )</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 不要</p>
	<p>〈対応表の作成の有無について〉</p> <p><input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について： )</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> なし</p>	
<p>6. 問合せ先</p>	<p>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</p> <p>大阪警察病院  大阪市天王寺区北山町 10-31  診療科：<u>呼吸器科</u>  担当者：(氏名) <u>山本 傑</u> (職名) <u>臨床部長</u>  連絡先：06-6771-6051</p> <p>※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>	

研究番号 686号 承認日 2017年2月10日

研究実施予定期間 承認日～2022年3月31日

## 情報公開文書

1. 研究課題名	低肺機能肺癌手術症例における術前吸入薬の効果に関する臨床研究： 多施設共同前向き観察研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	<p>低肺機能肺癌手術症例に対する術前吸入薬導入後の呼吸機能が、術後合併症予測因子になり得るかを検討する目的で本研究を計画した。吸入薬によって呼吸機能が改善した場合に、良好な手術成績が得られるかを検討する。多施設共同の前向き観察研究で介入なし。以下に研究の背景を記す。</p> <p>肺癌に対する手術は肺葉切除かつ縦隔リンパ節郭清が標準術式であるが、年齢や併存疾患等を考慮し縮小切除が選択されることがある。慢性閉塞肺疾患 Chronic Obstructive Pulmonary Disease (COPD)を有する低呼吸機能患者は、高齢化とともに数自体も増加しているが、手術適応と判断され手術を行った症例の中には、術後呼吸不全や心肺合併症を来す症例が比較的高頻度に存在する。</p> <p>「COPD 診断と治療のためのガイドライン第4版」は、COPDのII期以上の重症例には長時間作用型気管支拡張薬の定期的使用を勧めている。低肺機能の肺癌症例に対して、術前呼吸機能の改善を目的として、術前に長時間作用型気管支拡張薬を用いることは一般的になりつつあるが、実際に術前の吸入薬による呼吸機能の改善が、周術期合併症や予後に与える影響は明らかになっていない。</p>	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	新谷 康 准教授 呼吸器外科学 大阪大学大学院医学系研究科	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	新谷 康 准教授 呼吸器外科学 大阪大学大学院医学系研究科	
5. 研究の分類	<b>〈侵襲性について〉</b> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<b>〈共同研究の有無について〉</b> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<b>〈介入について〉</b> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<b>〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉</b> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<b>〈試料・情報の利用について〉</b> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<b>〈モニタリングと監査について〉</b> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 ( ) ・監査実施者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<b>〈対応表の作成の有無について〉</b> <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法：研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院	

大阪市天王寺区北山町 10-31

診療科：呼吸器外科

担当者：(氏名) 坂巻 靖 (職名) 部長

連絡先：06-6771-6051

※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究番号 658号 承認日 2016年12月8日  
 研究実施予定期間 承認日～2018年12月31日

## 情報公開文書

1. 研究課題名	臨床病期N2ⅢA期非小細胞肺癌に対する手術先行治療の多施設共同 後方視的観察研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	目的：近年の臨床病期 N2ⅢA 期非小細胞肺癌に対する手術先行治療例 を多施設共同で後ろ向きに集積・解析することで手術先行治療の意義 を明らかにする。 概要：西暦 2006 年 1 月 1 日から西暦 2013 年 12 月 31 日までに大阪大 学呼吸器外科関連施設臨床試験グループ (TSSGO) に参加する施設にお いて臨床病期 N2ⅢA 期非小細胞肺癌に対し肺葉切除以上+選択的縦隔 リンパ節廓清以上を施行した手術先行治療症例を対象とする。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	代表施設：八尾市立病院 呼吸器外科 代表者：兒玉 憲 (八尾市立病院 特命院長) 事務局：馬庭 知弘(八尾市立病院 呼吸器外科)	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	坂巻 靖 呼吸器外科 部長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント) について> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3 年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5 年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 ( ) ・監査実施者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法：研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	<b>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</b> 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科：呼吸器外科 担当者：(氏名) 坂巻 靖 (職名) 部長 連絡先：06-6771-6051  ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ 合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者 さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究 対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生	

	じることはありません。
--	-------------